

「1,3-ジクロロプロペン（D-D）農薬蜜蜂影響評価書（案）」についての
意見・情報の募集について

令和 6 年 7 月 1 日
農林水産省消費・安全局

この度、「1,3-ジクロロプロペン（D-D）農薬蜜蜂影響評価書（案）」について、広く国民の皆様から意見・情報を募集いたします。

今後、本案については、提出いただいた意見・情報を考慮した上、決定することとしております。

なお、提出いただいた意見に対して、個別の回答は致しかねますので、あらかじめ御了承願います。

記

1 意見公募の趣旨・目的・背景

農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）第 39 条第 1 項の規定に基づき、農薬の登録、変更の登録等をしようとするときは、農業資材審議会の意見を聴かなければならないとされています。このうち、蜜蜂への影響評価については、関連分野に高い知見を有する専門家で構成される農業資材審議会農薬分科会農薬蜜蜂影響評価部会において、農薬の使用時に講ずべき被害防止方法に関する事項等を検討することとしています。

令和 6 年 6 月 5 日、農薬の有効成分である 1,3-ジクロロプロペンについて、農業資材審議会農薬分科会農薬蜜蜂影響評価部会において、農薬蜜蜂影響評価書（案）が審議了承されました。

つきましては、本評価書案について、広く国民の皆様からの意見・情報を募集致します。

2 意見公募の対象となる案及び関連資料の入手方法

（１）e-Gov（<https://www.e-gov.go.jp/>）の「パブリック・コメント」欄に掲載
（農林水産省ホームページにあるリンクからアクセスが可能）

（２）農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室において配布

3 意見・情報の提出方法

（１）e-Gov の意見入力フォームを使用する場合

「パブリック・コメント：意見募集中案件詳細画面」の「意見募集要領（提出先を含む）」を確認の上、意見入力へのボタンをクリックし、「パブリック・コメント：意見入力フォーム」より提出を行ってください。

（２）郵送の場合

以下担当まで送付してください。

〒100-8950 東京都千代田区霞が関 1-2-1

農林水産省消費・安全局農産安全管理課

4 意見・情報の提出上の注意

提出の意見・情報は、日本語に限ります。

電話での意見・情報はお受けしませんので御了承願います。

提出に当たっては、氏名及び住所（法人又は団体の場合は、名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）並びに連絡先（電話番号又は電子メールアドレス）を明記して下さい。御記入いただいた個人情報、提出意見・情報の内容に不明な点があった場合等の連絡・確認のために利用します。

また、これらの情報は意見・情報の内容に応じ、農林水産省内の関係部署、関係府省等に転送することがあります。

5 意見・情報受付期間

令和6年7月1日～令和6年7月30日

（郵送の場合も締切日必着とします。）

6 公示資料

1,3-ジクロロプロペン（D-D）農薬蜜蜂影響評価書（案）

(案)

1,3-ジクロロプロペン (D-D)

農薬蜜蜂影響評価書

2024年6月5日

農業資材審議会農薬分科会

農薬蜜蜂影響評価部会

目 次

<経緯>	1
<農薬蜜蜂影響評価部会委員名簿>（第13回）	1
I. 評価対象農薬の概要	2
1. 有効成分の概要	2
2. 有効成分の物理的・化学的性状	3
3. 申請に係る情報	5
4. 作用機作	5
5. 適用病害虫の範囲及び使用方法（8製剤、別添参照）	6
II. ミツバチに対する安全性に係る試験	7
III. 暴露量の推計	8
IV. リスク評価結果	8
V. 毒性の強さから付される注意事項	8
評価資料	8

<経緯>

令和 4 年（2022年） 12 月 14 日 農業資材審議会への諮問

令和 6 年（2024年） 6 月 5 日 農業資材審議会農薬蜜蜂影響評価部会
（第13回）

<農薬蜜蜂影響評価部会委員名簿>（第13回）

（委員）

五箇 公一

與語 靖洋

（臨時委員）

山本 幸洋

（専門委員）

永井 孝志

中村 純

横井 智之

1,3-ジクロロプロペン(D-D)

I. 評価対象農薬の概要

1. 有効成分の概要

- | | |
|-----------|--|
| 1.1 申請者 | ダウ・ケミカル日本株式会社
アグロ カネショウ株式会社 |
| 1.2 登録名 | D-D
1,3-ジクロロプロペン |
| 1.3 一般名 | 1,3-dichloropropene (ISO) |
| 1.4 化学名 | |
| IUPAC名 : | (EZ)-1,3-dichloropropene |
| CAS名 : | 1,3-dichloro-1-propene
(CAS No. 542-75-6) |
| 1.5 コード番号 | XRM-5048、M3993、Telone II、Trans-D、テロン92 |

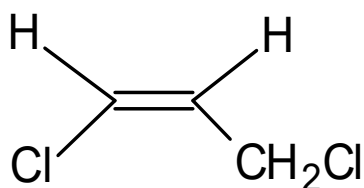
1.6 分子式、構造式、分子量

分子式

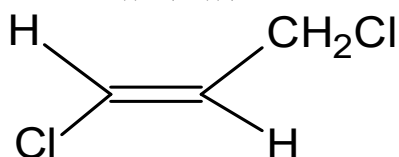
$C_3H_4Cl_2$

構造式

シス体 (Z-体)



トランス体 (E-体)



分子量

110.96

2. 有効成分の物理的・化学的性状

(1) シス体 (Z-体)

試験項目			純度(%)	試験方法	試験結果
色調・形状			—	色調：JISZ8723に準ずる 形状：官能法	淡黄褐色澄明液体
臭気			—	官能法	特異的刺激臭
融点			98.1	OECD102	-85 °C
沸点			98.1	OECD 103	103.8～105.2 °C
密度			98.1	OECD 109	1.221 g/cm ³ (23 °C)
蒸気圧			98.1	OECD 104	4850 Pa (25 °C)
熱安定性			98.9	OECD 113	150 °Cまで安定
溶解度	水		98.1	OECD 105	2.45 g/L (20 °C)
	有機溶媒	ヘプタン	98.9	OECD 105	>610 g/kg (19 °C)
		キシレン			>551 g/kg (19 °C)
		アセトン			>589 g/kg (19 °C)
		メタノール			>599 g/kg (19 °C)
		1-オクタノール			>545 g/kg (19 °C)
		1,2-ジクロロエタン			>479 g/kg (19 °C)
		酢酸エチル			>533 g/kg (19 °C)
解離定数 (pK _a)				解離しないため試験省略	
1-オクタノール／水分配係数 (log P _{ow})		98.1	OECD 107	1.82 (20 °C)	
加水分解性		97.04* ¹	—	半減期 11.3 日 (20 °C、pH 5、pH 7 及び pH 9)	
水中光分解性		99* ²	EPA161-2	半減期 5.7 日 (pH 7 滅菌緩衝液、25±1 °C、北緯 40 度の夏の自然太	

試験項目	純度(%)	試験方法	試験結果		
			陽光の約 88 %程度の光強度)		
紫外可視吸収 (UV/VIS) スペクトル	98.1		極大吸収波長 (nm)	吸光度	モル吸光係数 (L mol ⁻¹ cm ⁻¹)
			中性		
			202	0.915	4741
			酸性		
			203	0.851	4409
			アルカリ性		
			209	0.515	2668

*1：シス-トランス混合物（異性体比：シス体 60 %、トランス体 40 %）

*2：シス-トランス混合物（異性体比不明）

—：報告書に記載なし

（２）トランス体（E-体）

試験項目			純度(%)	試験方法	試験結果
色調・形状			—	色調：JISZ8723に 準ずる 形状：官能法	淡黄褐色澄明液体
臭気			—	官能法	特異的刺激臭
融点			97.8	OECD102	-25 °C
沸点			97.8	OECD 103	114.5 °C
密度			97.8	OECD 109	1.23 g/ cm ³ (24 °C)
蒸気圧			97.8	OECD 104	2982 Pa (25 °C)
熱安定性			97.8	OECD 113	150 °Cまで安定
溶解度	水		97.8	OECD 105	2.52 g/L (20 °C)
	有機溶媒	ヘプタン	97.8	OECD 105	>607 g/kg (19 °C)
		キシレン			>551 g/kg (19 °C)
		アセトン			>597 g/kg (19 °C)
		メタノール			>587 g/kg (19 °C)
		1-オクタノール			>584 g/kg (19 °C)
		ジクロロメタン			>458 g/kg (19 °C)
		酢酸エチル			>544 g/kg (19 °C)
	解離定数 (pK _a)				解離しないため試験省略
1-オクタノール／水分配係数 (log P _{ow})		97.8	OECD 117	2.1 (30 °C)	
加水分解性		97.04* ¹	—	半減期 11.3 日 (20 °C、pH 5、pH 7 及び pH 9)	
水中光分解性		99* ²	EPA161-2	半減期 5.7 日 (pH 7 滅菌緩衝液、25±1 °C、北緯 40 度の夏の自然 太陽光の約 88 %程度の光強度)	

試験項目	純度(%)	試験方法	試験結果		
紫外可視吸収 (UV/VIS) スペクトル	97.8		極大吸収波長 (nm)	吸光度	モル吸光係数 (L mol ⁻¹ cm ⁻¹)
			中性		
			201	0.855	7220
			酸性		
			204	0.816	8520
			アルカリ性		
			267*	0.525	51
			*: 被験物質の加水分解物によるものと考えられる。		

*1：シス-トランス混合物（異性体比：シス体 60 %、トランス体 40 %）

*2：シス-トランス混合物（異性体比不明）

—：報告書に記載なし

3. 申請に係る情報

1,3-ジクロロプロペン（D-D）は、2023 年現在、米国、豪州、カナダ等複数の国で登録されている。

4. 作用機作

1,3-ジクロロプロペン（D-D）は、線虫の酵素の求核反応の中心（スルフヒドリル基、アミノ基、水酸基などのグループ）と化学結合することにより酵素活性を阻害すると考えられている。

（IRAC 分類：8 A）

※参照：[https:// irac-online.org /](https://irac-online.org/)

5. 適用病害虫の範囲及び使用方法（8 製剤、別添参照）

- ディ・トラペックス油剤
（メチルイソチオシアネート 20.0 %・D-D 40.0 %油剤）
- カヤクダブルストッパー
（クロルピクリン 35.0 %・D-D 60.0 %くん蒸剤）
- 旭 D-D 及び D-D
（D-D 97.0 %剤）
- DC 油剤
（D-D 97.0 %剤）
- テロン
（D-D 97.0 %剤）
- ソイリーン及び三井ソイリーン
（クロルピクリン 41.5 %・D-D 54.5 %くん蒸剤）

II. ミツバチに対する安全性に係る試験

本剤は裸地ほ場に処理し、一定の期間土壌くん蒸した後、薬害防止の観点から十分なガス抜き期間を経た後には種または定植する。このため、ガス抜き期間を終えるまでの間（本剤が土壌から揮散消失するまでの間）、本剤を処理したほ場に作物は栽培されておらず、ミツバチの飛来を誘発する要因（開花）はないことからミツバチが接触暴露するおそれはないと考えられる。

また、本剤を有効成分とする製剤に登録のある作物における作物残留試験の結果はすべて定量限界未満であり、作物体中への残留が認められていないことから、開花後の作物の花粉・花蜜中にも残留せず、ミツバチが経口暴露するおそれはないと考えられる。

さらに、本剤は蒸気圧が高く、ミツバチへの接触毒性試験、経口毒性試験を実施したとしても適切に暴露させることができず、毒性値を求めることが困難である。

以上から、本剤においてはミツバチに対する安全性に係る試験は提出されていない。

なお、審議の対象となる本剤のミツバチに対する毒性に関する公表文献も認められなかった。

（参考）公表文献の検索結果（資料2，3）
（生活環境動植物及び家畜に対する毒性に関する分野）

データベース名： ①Web of Science (Core Collection)
②J-stage
③STN Toxicology Database Cluster, Dialog
検索対象期間： ①2014年8月26日から2021年7月3日
②2006年7月4日から2021年7月3日
③2004年1月1日から2014年8月25日

「生活環境動植物及び家畜に対する毒性に関する分野」に該当する文献	42
----------------------------------	----



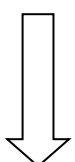
【表題と概要に基づく適合性の有無の評価】
明らかに評価の目的と適合しない文献の除外

「適合性なし」以外の文献数	14
---------------	----



【全文に基づく適合性の有無の評価】
評価の目的と適合しない文献の除外

「適合性あり」の文献数	2
-------------	---



【適合性の分類】
分類基準を設定して全文をレビューし、評価目的への適合性を
a、b、c の3つの区分に分類
区分a：リスク評価パラメーターを設定又は見直すために利用可能と判断される文献
区分b：リスク評価パラメーターを設定する際の補足データとして利用が可能と想定される文献
区分c：a又はbに分類されない文献

「区分a」及び「区分b」に分類された文献数	a	b
	2	0



試験生物として「セイヨウミツバチ (*Apis mellifera*)」
を用いている

「区分a」及び「区分b」に分類された文献数	a	b
	0	0

Ⅲ. 暴露量の推計

Ⅱ. に記載の理由により、その使用にあたり本剤にミツバチが暴露しないと想定される。

Ⅳ. リスク評価結果

1,3-ジクロロプロペン（D-D）は、申請された適用方法に基づき使用される限りにおいて、ミツバチの群の維持に支障を及ぼすおそれはないと考えられる。

Ⅴ. 毒性の強さから付される注意事項

本剤の用途は殺虫剤であり、殺虫活性を有する。本剤の作用機作及び適用害虫の範囲から、ミツバチに対する毒性は強いと考えられ、また、本剤の物理的・化学的性状から、巣箱周辺での使用に係る注意事項を要する。

評価資料

資料 番号	報告年	題名、出典（試験施設以外の場合） 試験施設、報告書番号 GLP 適合状況（必要な場合）、公表の有無	提出者
1	2022	1,3-ジクロロプロペン 試験成績の概要及び考察 未公表	ダウ・ケミカル 日本(株)
2	2022	公表文献に関する報告書 有効成分名：1,3-ジクロロプロペン（D-D） 公表 URL: https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/saihyoka/kouhyoubunken.html	ダウ・ケミカル 日本(株)
3	2023	公表文献調査報告書 1,3-ジクロロプロペン（追補） 公表 URL: https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/saihyoka/kouhyoubunken.html	農林水産省

別添：適用病害虫の範囲及び使用方法（1，3－ジクロロプロペン（別名 D-D））

目 次

1. 登録番号 13488：ディ・トラペックス油剤 （メチルイソチオシアネート 20.0 %・D-D 40.0 %油剤）	2
2. 登録番号 20749：カヤクダブルストッパー （クロルピクリン 35.0 %・D-D 60.0 %くん蒸剤）	6
3. 登録番号 22029：旭 D-D、 登録番号 22030：D-D （D-D 97.0 %剤）	8
4. 登録番号 22031：DC 油剤 （D-D 97.0 %剤）	11
5. 登録番号 22032：テロン （D-D 97.0%剤）	14
6. 登録番号 22162：ソイリーン、 登録番号 22163：三井ソイリーン （クロルピクリン 41.5 %・D-D 54.5 %くん蒸剤）	17

1. 登録番号 13488 : ディ・トラペックス油剤

(メチルイソチオシアネート 20.0 %・D-D 40.0 %油剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	メチルイソチオ シアネートを含む 農薬の総 使用回数	D-Dを含 む農薬 の総使 用回数
しょう が	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 21日前 まで	1回	圃場を耕起・整地し た後、所定量を深さ 約 12~15 cmに注入 し、直ちに覆土・鎮 圧する。 薬剤処理7~14日 後 にガス抜き作業を行 う。	1回	1回
	根茎腐敗病 立枯病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
ごぼう	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種の21日 前まで				
	萎凋病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
ねぎ わけぎ あさつき	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 14 日前 まで				
	根腐萎凋病	40 L/10 a					
	萎凋病 黒腐菌核病 白絹病 一年生雑草	30~40 L/10a					
たまね ぎ	センチュウ類	20~30 L/10 a	植付の30日 前まで				
	黒腐菌核病	30 L/10 a					
	乾腐病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
ふき	センチュウ類	20~30 L/10 a	植付の30日 前まで				
	半身萎凋病 一年生雑草	30 L/10 a					
トマト ミニトマト	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 21 日前 まで				
	半身萎凋病	30 L/10 a					
	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	40 L/10 a					
	萎凋病 根腐萎凋病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
だい こん	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 21 日前 まで				
	根こぶ病 バクテリア性黒 点病	30 L/10 a					
	萎黄病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 14 日前 まで (砂質土)				
	根こぶ病 バクテリア性黒 点病	30 L/10 a					
	萎黄病 一年生雑草	30~40 L/10a					
			圃場を耕起・整地 した後、所定量を 深さ約12~15 cm に 注入し、直ちに 覆土・鎮圧する。 薬剤処理7日後に ガス抜き作業を行 う。				

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	メチルイソチオシア ネートを含む 農薬の総 使用回数	D-Dを含む農薬 の総使 用回数
すいか	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 21日前まで	1回	圃場を耕起・整地し た後、所定量を深さ 約12~15 cmに注入 し、直ちに覆土・鎮 圧する。 薬剤処理7~14日後 にガス抜き作業を行 う。	1回	1回
	つる割病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
メロン	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 30日前まで				
	つる割病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
ほうれ んそう	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種の 30日前まで				
	バーティシリウム萎 凋病	30 L/10 a					
	萎凋病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
	苗立枯病(ピシ ウム菌)	40 L/10 a					
かぶ	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種の 21日前まで				
	根こぶ病 バーティシリウム黒 点病	30 L/10 a					
	萎黄病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
らっき ょう	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 21日前まで				
	黒腐菌核病 根腐病 乾腐病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
にんに く	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 30日前まで				
	乾腐病 紅色根腐病 黒腐菌核病 一年生雑草	30 L/10 a					
キャベツ	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 21日前まで				
	バーティシリウム萎 凋病	40 L/10 a					
	萎黄病 根こぶ病 菌核病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
はくさ い	センチュウ類	20~30 L/10 a					
	萎黄病 根こぶ病	30~40 L/10 a					
	黄化病	30 L/10 a					
	一年生雑草	30~40 L/10 a					

作物名	適用 病虫害名	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	メチルソチオン ネットを含む 農薬の総 使用回数	D-Dを含む 農薬 の総使 用回数
レタス 非結球レ タス	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 21日前まで	1回	圃場を耕起・整地し た後、所定量を深さ 約 12~15 cmに注入 し、直ちに覆土・鎮 圧する。 薬剤処理7~14日後 にガス抜き作業を行 う。	1回	1回
	バーティシウム萎 凋病	30 L/10 a					
	根腐病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
いちご	センチュウ類	20~30 L/10 a					
	疫病 萎凋病	30 L/10 a					
	萎黄病 炭疽病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
きゅう り	センチュウ類	20~30 L/10 a					
	つる割病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
にんじ ん	センチュウ類	20~30 L/10 a					
	萎凋病 しみ腐病 黒しみ病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
なす	センチュウ類	20~30 L/10 a					
	萎凋病 半枯病 半身萎凋病 一年生雑草	30 L/10 a					
こんに ゃく	センチュウ類	20~30 L/10 a					
	乾腐病 根腐病 白絹病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
やまの いも	センチュウ類	20~30 L/10 a					
	褐色腐敗病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
茶	センチュウ類	20~30 L/10 a					
	白紋羽病	30~40 L/10 a					
	苗根腐病	50 L/10 a					
	一年生雑草	30~40 L/10 a					
たばこ	センチュウ類 黒根病	20~30 L/10 a					
	立枯病 一年生雑草	30~40 L/10 a					

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	メチルイソシア ネートを含む 農薬の総 使用回数	D-Dを含 む農薬 の総使 用回数
きく	センチュウ類(ハダレ センチュウを除く)	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 21日前まで	1回	圃場を耕起・整地し た後、所定量を深さ 約 12~15 cmに注入 し、直ちに覆土・鎮 圧する。 薬剤処理7~14日後 にガス抜き作業を行 う。	1回	1回
	半身萎凋病 萎凋病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
カーネーション	センチュウ類	20~30 L/10 a					
	萎凋病 萎凋細菌病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
花き類・ 観 葉 植 物(カーネ ーション、きく を除く)	センチュウ類	20~30 L/10 a					
	半身萎凋病	30 L/10 a					
	萎凋病(フザリウム菌) 萎黄病(フザリウム菌) 球根腐敗病(フザリウム菌) 苗立枯病(フザリウム菌) 尻腐病(フザリウム菌) 腐敗病 乾腐病 萎縮病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
つつじ 類	イシクセンチュウ 一年生雑草	30 L/10 a	植付の 21日前まで				

2. 登録番号 20749 : カヤクダブルストッパー

(クロルピクリン 35.0 %・D-D 60.0 %くん蒸剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	クロルピクリンを含む農薬の 総使用回数	D-D を 含む農薬 の総使用 回数
かぶ だいこん	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ 萎黄病	30 L/10 a (1 穴当り 3 mL)	作付の 10~15 日前 まで	1回	土壌くん蒸(30×30 cm ごとの深さ15 cmの穴 に1穴処理する)	1回	1回
こまつな						2回以内 (床土1回 以内)	
セルリー						3回以内 (床土1回 以内、 圃場2回 以内)	
かんしょ	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ 立枯病 つる割病					1回	
オクラ	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ 立枯病						
なす	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ 半身萎凋病 青枯病 半枯病					2回以内 (床土1回 以内)	
トマト ミニトマト	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ 萎凋病 根腐萎凋病					3回以内 (床土1回 以内、 圃場2回 以内)	
ピーマン	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ 青枯病 萎凋病						
とうがらし類 ねぎ	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ 萎凋病						
ほうれん そう						2回以内 (床土1回 以内)	
いちご	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ 炭疽病 萎黄病					3回以内 (床土1回 以内、 圃場2回 以内)	
きゅうり すいか	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ						
にがうり	ネコブセンチュウ つる割病						

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	コロビ [®] クリンを含む農薬の 総使用回数	D-D を 含む農薬 の総使用 回数
にんじん	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ しみ腐病 萎凋病 黒しみ病	30 L/10 a (1穴当り 3 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	土壌くん蒸(30×30 cm ごとの深さ15 cmの穴 に1穴処理する)	1回	1回
メロン	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ つる割病 黒点根腐病 えそ斑点病					2回以内 (床土1回 以内、 圃場1回 以内)	
しょうが	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ 立枯病 根茎腐敗病					2回以内 (床土1回 以内)	
みょうが (花穂) みょうが (茎葉)	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ						
かぼちゃ はくさい							
レタス 非結球レタ ス	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ 根腐病					1回	
ばれいし よ	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ そうか病 萎凋病						
やまのい も	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ 褐色腐敗病					2回以内 (床土1回 以内)	
ごぼう	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ 黒あざ病 萎凋病						
こんにゃ く さといも	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ 乾腐病					1回	
きく	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ 萎凋病 半身萎凋病					3回以内 (床土1回 以内、 圃場2回以 内)	
花き類・ 観葉植物 (きくを除く)	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ 萎黄病(フザ [®] リウム菌) 萎凋病(フザ [®] リウム菌) 株枯病(フザ [®] リウム菌) 乾腐病(フザ [®] リウム菌) 球根腐敗病(フザ [®] リウム 菌) 立枯病(フザ [®] リウム菌) 葉枯病(フザ [®] リウム菌) 腐敗病(フザ [®] リウム菌)						

3. 登録番号 22029 : 旭 D-D、
登録番号 22030 : D-D
(D-D 97.0 %剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	D-Dを含 む農薬 の総使 用回数
ブロッコリー カリフラワー	テンサイストセンチ ュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)			全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。	
はくさい ほうれんそう キャベツ						
レタス 非結球レタス 非結球あぶらな 科葉菜類 せり科葉菜類 きゅうり すいか いちご トマト ミニトマト メロン かぼちゃ なす ピーマン とうがらし類 まくわうり だいこん はつかだいこん にんじん かぶ ごぼう てんさい こんにやく さといも らっかせい しょうが やまのいも みょうが(花穂) みょうが(茎葉) しそ しそ(花穂) バジル うど 薬用にんじん 食用ぎく オクラ にがうり もりあざみ らっきょう	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼 虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)	作付の 10~15日 前まで	1回	1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。	1回

作物名	適用 病虫害名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	D-Dを含 む農薬 の総使 用回数
みしまさいこ さやいんげん にら つるむらさき	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
ねぎ	ネダニ類	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)			全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。	
うり類(漬物用)	センチュウ類 コガネムシ類幼虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)			1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。	
えだまめ だいず	ダイズシストセン チュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)				
豆類(未成熟、た だし、えだまめ、 さやいんげんを 除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)				
ばれいしょ	ジャガイモシスト センチュウ	30~40 L/10 a (1穴当り 3~4 mL)			全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土し、ポリエチレン、ビニール等 で被覆する。	
	青枯病 そうか病					
		ジャガイモシロシ ストセンチュウ			40 L/10 a (1穴当り 4 mL)	

作物名	適用 病虫害名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	D-Dを含む農薬 の総使用 回数
かんしょ	ネコブセンチュウ	15~30 L/10 a (1穴当り 1.5~3 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
	ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼 虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)				
茶	ネコブセンチュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)			全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し、直ちに 覆土鎮圧する。	
花き類・観葉植 物(きくを除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼 虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)			1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。	
きく	ネグサレセンチュウ	30~40 L/10 a (1穴当り 3~4 mL)				
	ネコブセンチュウ コガネムシ類幼 虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)				
樹木類	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼 虫		植付の 10~15日前 まで			
すぎ(は種床) すぎ(床替床) ひのき(は種床) ひのき(床替床)	イシクセンチュウ ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼 虫		作付の 10~15日前 まで			
たばこ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)	作付の 30日前 まで		1)全面処理 耕起整地後、30 cm×30 cm 間隔で地表面から深さ15 cmに所定量の薬液を注入 し、直ちに注入口をふさ ぎ、鎮圧する。	
		4~6 L/10 a (1穴当り 1.3~2 mL)	作付の 30~45日前 まで		2)畦内処理 植付前、畦立・畦面被覆後 に、植付予定位置の深さ 15~20 cmに所定量の薬液 を注入し、直ちに覆土鎮圧 する。但し、ガス抜きは行わ ないこと。	

4. 登録番号 22031 : DC 油剤
(D-D 97.0 %剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	D-Dを含む農薬 の総使用 回数
レタス 非結球レタス しそ しそ(花穂) バジル きゅうり すいか いちご トマト ミニトマト メロン かぼちゃ なす ピーマン とうがらし類 オクラ まくわうり にがうり だいこん はつかだいこん にんじん かぶ ごぼう もりあざみ うど 薬用にんじん てんさい こんにやく さといも らっかせい しょうが やまのいも みょうが(花穂) みょうが(茎葉) らっきょう 食用ぎく みしまさいこ さやいんげん にら つるむらさき 非結球あぶらな 科葉菜類 せり科葉菜類	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
はくさい ほうれんそう キャベツ	テンサイストセンチュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)			全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。	

作物名	適用 病虫害名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	D-Dを含む農薬 の総使用 回数
ねぎ	ネコブセンチュウ類	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。	1回
樹木類	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)	植付の 10~15日前 まで		1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。	
うり類(漬物用)	センチュウ類 コガネムシ類幼虫					
だいず えだまめ	ダイズシストセン チュウ		20 L/10 a (1穴当り 2 mL)			
豆類(未成熟、た だし、えだまめ、 さやいんげんを 除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)	作付の 10~15日前 まで			
かんしょ	ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫					
	ネコブセンチュウ	15~30 L/10 a (1穴当り 1.5~3 mL)				
花き類・観葉植 物(きくを除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)				
きく	ネコブセンチュウ コガネムシ類幼虫					
	ネグサレセンチュウ	15~40 L/10 a (1穴当り 1.5~4 mL)				
すぎ(は種床) ひのき(は種床) すぎ(床替床) ひのき(床替床)	イシクセンチュウ ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)				

作物名	適用 病虫害名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	D-Dを含む農薬 の総使用 回数
ばれいしょ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
	ジャガイモシスト センチュウ	30~40 L/10 a (1穴当り 3~4 mL)			全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土し、ポリエチレン、ビニール等 で被覆する。	
	青枯病 そうか病				全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土し、ポリエチレン、ビニール等 で被覆する。	
	ジャガイモシロシ ストセンチュウ	40 L/10 a (1穴当り 4 mL)			全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し、直ち に覆土鎮圧する。	
たばこ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)	作付の 30日前 まで		1)全面処理 耕起整地後、30 cm×30 cm 間隔で地表面から深さ15 cmに所定量の薬液を注入 し、直ちに注入口をふさ ぎ、鎮圧する。	
		4~6 L/10 a (1穴当り 1.3~2 mL)	作付の 30~45日前 まで		2)畦内処理 植付前、畦立・畦面被覆後 に、植付予定位置の深さ 15~20 cmに所定量の薬液 を注入し、直ちに覆土鎮圧 する。但し、ガス抜きは行わ ないこと。	
茶	ネコブセンチュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)	作付の 10~15日前 まで		全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し、直ちに 覆土鎮圧する。	
ブロッコリー カリフラワー	テンサイシストセン チュウ				全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し、直ちに 覆土鎮圧する。	

5. 登録番号 22032 : テロン
(D-D 97.0%剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	D-Dを含む農薬 の総使用 回数
ブロッコリー カリフラワー	テンサイストセンチュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)			全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。	
はくさい ほうれんそう キャベツ						
レタス 非結球レタス 非結球あぶらな 科葉菜類 せり科葉菜類 きゅうり すいか いちご トマト ミニトマト メロン かぼちゃ なす ピーマン とうがらし類 まくわうり だいこん はつかだいこん にんじん かぶ ごぼう てんさい こんにゃく さといも らっかせい しょうが やまのいも みょうが(花穂) みょうが(茎葉) しそ しそ(花穂) バジル うど 薬用にんじん 食用ぎく オクラ にがうり もりあざみ らっきょう みしまさいこ さやいんげん にら つるむらさき	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼 虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。	1回

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	D-Dを含む農薬 の総使用 回数	
ねぎ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。	1回	
	ネダニ類	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)			全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。		
うり類(漬物用)	センチュウ類 コガネムシ類幼虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)			1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。		
だいず えだまめ	ダイズシストセン チュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)					
豆類(未成熟、た だし、えだまめ、 さやいんげんを 除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)					
ばれいしょ	ジャガイモシスト センチュウ	30~40 L/10 a (1穴当り 3~4 mL)					全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土し、ポリエチレン、ビニール等 で被覆する。
	青枯病 そうか病						全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し、直ちに 覆土鎮圧する。
		ジャガイモシロシ ストセンチュウ			40 L/10 a (1穴当り 4 mL)		全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し、直ちに 覆土鎮圧する。

作物名	適用 病虫害名	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	D-Dを含む農薬 の総使用回数
かんしょ	ネコブセンチュウ	15~30 L/10 a (1穴当り 1.5~ 3 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔 の基盤の目に切り千鳥状に 深さ15~20 cmに所定量の薬 液を注入し直ちに覆土鎮圧 する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらかじめ 予定された溝に30 cm間 隔に所定量の薬液を注入し 直ちに覆土鎮圧する。	1回
	ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)			全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥状 に深さ15~20 cmに所定量の 薬液を注入し、直ちに覆土 鎮圧する。	
茶	ネコブセンチュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)			1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔 の基盤の目に切り千鳥状に 深さ15~20 cmに所定量の薬 液を注入し直ちに覆土鎮圧 する。	
花き類・観葉植 物(きくを除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)			1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔 の基盤の目に切り千鳥状に 深さ15~20 cmに所定量の薬 液を注入し直ちに覆土鎮圧 する。	
きく	ネグサレセンチュウ	15~40 L/10 a (1穴当り 1.5~4 mL)			2)作条処理 は種又は植付前にあらかじめ 予定された溝に30 cm間 隔に所定量の薬液を注入し 直ちに覆土鎮圧する。	
	ネコブセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)				
樹木類	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)	植付の 10~15日前 まで			
すぎ(は種床) すぎ(床替床) ひのき(は種床) ひのき(床替床)	イシユクセンチュウ ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫		作付の 10~15日前 まで			
たばこ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)	作付の 30日前 まで		1)全面処理 耕起整地後、30 cm×30 cm 間隔で地表面から深さ15 cmに所定量の薬液を注入 し、直ちに注入口をふさ ぎ、鎮圧する。	
		4~6 L/10 a (1穴当り 1.3~2 mL)	作付の 30~45日前 まで		2)畦内処理 植付前、畦立・畦面被覆後 に、植付予定位置の深さ 15~20 cmに所定量の薬液を 注入し、直ちに覆土鎮圧す る。但し、ガス抜きは行わ ないこと。	

6. 登録番号 22162 : ソイリーン、
登録番号 22163 : 三井ソイリーン
(クロルピクリン 41.5 %・D-D 54.5 %くん蒸剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	クロルピクリンを含む農薬の 総使用回数	D-D を 含む農薬 の総使用 回数
にんじん	しみ腐病	30 L/10 a (1穴当り 3 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	耕起整地後、30 cm間 隔のストリ状に深さ約 15 cmに所定量を注入 し、直ちに覆土し、ポ リエチレン、ビニール等で被 覆する。	1回	1回
	ごぼう	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ				20~30 mL/10 a (1穴当り 2~3 mL)	
黒あざ病		30 L/10 a (1穴当り 3 mL)				3回以内 (床土1回 以内、 圃場2回 以内)	
すいか	つる割病 黒点根腐病						
	さやいんげ ん	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ				30 L/10 a (1穴当り 3 mL)	
メロン	黒点根腐病 えそ斑点病 つる割病	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)					
	だいこん					バーティシウム黒 点病	
はくさい		ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ				20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)	
	キャベツ	黄化病 根くびれ病					
未成熟そら まめ		苗立枯病(リゾ クトニア菌)				30 L/10 a (1穴当り 3 mL)	
	なす	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ					
トマト ミニトマト		青枯病				30 L/10 a (1穴当り 3 mL)	
	きゅうり	萎凋病 ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ					
つる割病 ホモフシス根腐病		30 L/10 a (1穴当り 3mL)				3回以内 (床土1回 以内、 圃場2回 以内)	
	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ						

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	コロビクリンを含む農薬の総使用回数	D-Dを含む農薬の総使用回数
ピーマン とうがらし類	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20~30 L/10 a (1穴当たり 2~3 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	耕起整地後、30 cm間 隔のフドリ状に深さ約 15 cmに所定量を注入 し、直ちに覆土し、ポ リエチレン、ビニール等で被 覆する。	3回以内 (床土1回 以内、 圃場2回 以内)	1回
	青枯病	30 L/10 a (1穴当たり 3 mL)				1回	
かぼちゃ	立枯病	20~30 L/10 a (1穴当たり 2~3 mL)				2回以内 (床土1回 以内)	
こまつな	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ					1回	
レタス かぶ	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ					2回以内 (床土1回 以内)	
豆類(未成熟、ただし、 さやいんげん、未成熟 そらまめ、さやえんどう、 実えんどうを除く)							
ほうれんそう	萎凋病	30 L/10 a (1穴当たり 3 mL)				2回以内 (床土1回 以内)	
	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ						
しょうが	根茎腐敗病	30 L/10 a (1穴当たり 3 mL)				1回	
ばれいしょ	そうか病 青枯病	20~30 L/10 a (1穴当たり 2~3 mL)					
	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ						
かんしょ	立枯病	30 L/10 a (1穴当たり 3 mL)					
	炭疽病	30 L/10 a (1穴当たり 3 mL)					
さといも	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ					20~30 L/10 a (1穴当たり 2~3 mL)	
やまものいも	根腐病 褐色腐敗病	30 L/10 a (1穴当たり 3 mL)					
	いちご	炭疽病				20~30 L/10 a (1穴当たり 2~3 mL)	
萎黄病							
ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ							

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロビ・クリンを含む農薬の総使用回数	D-D を含む農薬の総使用回数
こんにゃく	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	耕起整地後、30 cm間隔のフタリ状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	1回	1回
ねぎ	根腐病	30 L/10 a (1穴当り3 mL)				3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)	
	白絹病						
さやえんどう 実えんどう みょうが (花穂) みょうが (茎葉) にがうり 葉しょうが	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)				2回以内 (床土1回以内)	
オクラ	苗立枯病	30 L/10 a (1穴当り3 mL)				1回	
パセリ	立枯病						
セルリー	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)					
	萎黄病	30 L/10 a (1穴当り3 mL)					
きく	半身萎凋病						
	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)					
ストック	萎凋病	30 L/10 a (1穴当り3 mL)					
	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)				3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)	
チューリップ	球根腐敗病	30 L/10 a (1穴当り3 mL)					
	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)					
カーネーション	萎凋細菌病	30 L/10 a (1穴当り3 mL)					
	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)					

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クルビ°クリンを含む農薬の総使用回数	D-D を含む農薬の総使用回数
トルコギキョウ	根腐病 立枯病	30 L/10 a (1穴当り 3 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	耕起整地後、30 cm間隔のフタリ状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	3回以内 (床土1回以内、圃場2回以内)	1回
花き類・観葉植物(ストック、チューリップ、きく、カーネーション、トルコギキョウを除く)	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)					
たばこ	ネコブセンチュウ 立枯病	(畦内土壌注入) 1 穴 当 り 2~3mL	作付の 30日前 まで		(畦内土壌注入) 畦立後、畦中央の頂上から、30 cm間隔で、35 cmの深さに所定量を注入し、直ちに注入口をふさぎ、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	1回	

作物名	適用雑草名	使用時期	使用液量	本剤の使用回数	使用方法	クルビ°クリンを含む農薬の総使用回数	D-D を含む農薬の総使用回数
にんじん だいこん はくさい かぼちゃ ばれいし よ かんしょ さといも やまのいも こんにゃく オクラ パセリ 豆類(未成熟、ただし、さやいんげん、未成熟そらまめ、さやえんどう、実えんどうを除く)	一年生 雑草	作付の10~15日 前まで	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)	1回	耕起整地後、30 cm間隔のフタリ状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	1回	1回

作物名	適用 雑草名	使用 時期	使用液量	本剤の 使用 回数	使用方法	クロビ [®] グリン を含む 農薬の総 使用回数	D-D を 含む農薬 の総使用 回数
ごぼう なす ほうれん そう しょうが みょうが (花穂) みょうが (茎葉) にがうり 葉しょう が さやえん どう 実えん とう	一年生 雑草	作付の10~15日 前まで	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)	1回	耕起整地後、30 cm間隔のストリ状 に深さ約15 cmに 所定量を注入し、 直ちに覆土し、ポ リエチレン、ビニール等で 被覆する。	2回以内 (床土1回 以内)	1回
すいか トマト ミトマト きゅうり ピーマン とうがら し類 いちご ねぎ セルリー さやいん げん 花き類・観 葉植物						3回以内 (床土1回 以内、 圃場2回 以内)	
メロン キャベツ 未成熟そ らまめ						2回以内 (床土1回 以内、 圃場1回 以内)	